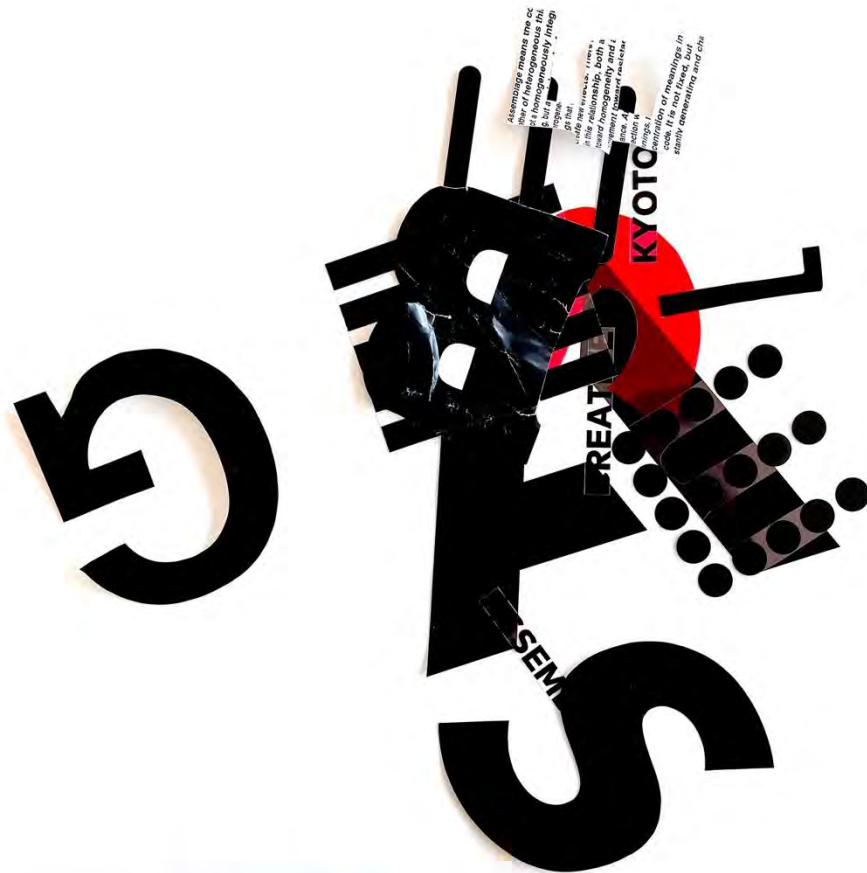


KYOTO CREATIVE ASSEMBLAGE

イノベーションの美学的転回



山内 裕

京都クリエイティブ・アッサンブラージュ

人文学の観点から、社会をよく見て切断を入れ、価値を転換し、新しい時代を表現することで、イノベーションを起こす方法論を教えている。

3大学のアッサンブラージュ

- 京都大学
- 京都市立芸術大学
- 京都工芸繊維大学

文部科学省「価値創造人材育成拠点形成事業」
2021-2025

<https://assemblage.kyoto>



佐藤可士和さんの仕事を読み解く

2022 UNIQLO

2023 セブンプレミアム ムブローチ

2024 日本GLP ALFALINK 1. 社会をよく見ること

2025 象徴をつくる

創造性は個人の内面から湧き出るのではなく、社会をよく見ることから生まれる。

2. 時代を表現すること

ニーズを満たすこと、問題を解決することから、表現へ。そして、人々の自己表現を可能にする。



イノベーションの観点から

イノベーションとは、既存の意味のシステムを解体すること。

- 意味のシステムの中で、「よい」ものを提示することではない。
- 良い悪いを決める基準を宙吊りにする。

意味のシステムが排除する「敗者」を救済する。

- 意味が与えられない敗者は、よくないものとされている。
- この敗者を排除しなければシステムが成立できなかった: システムの脆弱性の点。



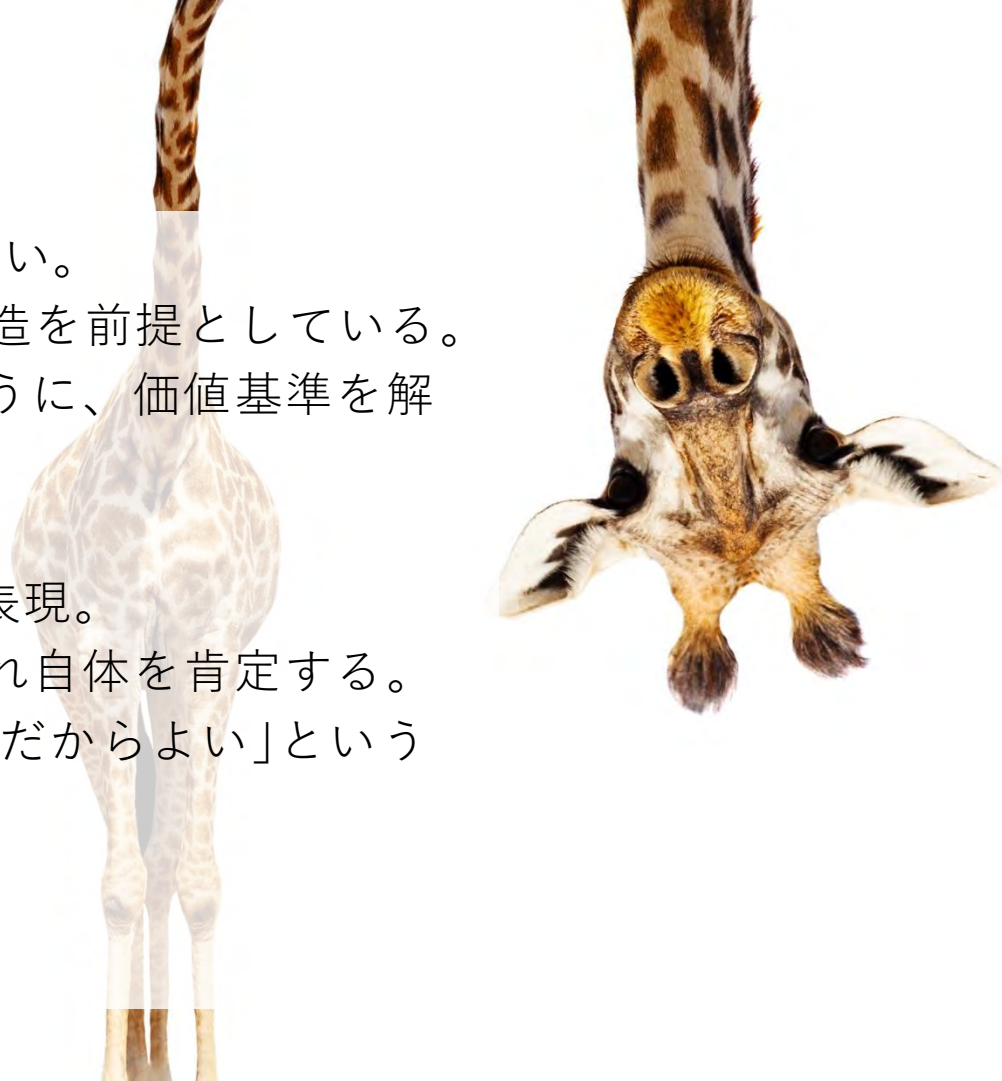
価値転換

「よい」ものに引き上げるのではない。

- 「よい」という提示は、階層構造を前提としている。
- 何がよいのかもわからないように、価値基準を解体する。

無-意味な敗者を素直に肯定する表現。

- 否定から入るのではなく、それ自体を肯定する。
- 「...なのによい」ではなく、「...だからよい」という価値転換。



社会をよく見る: 人文学の可能性

意味のシステムをよく見る。

- 意味のシステムのいかがわしさを読み解けるか?
- 敗者を抑圧し見えなくするといういかがわしさ。

人文社会的な思考を身に付ける。

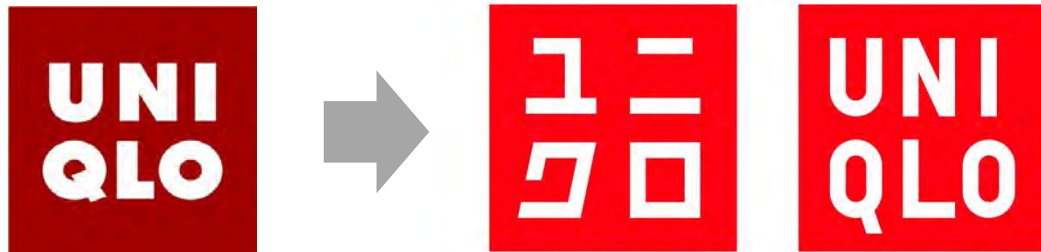
- 無-意味を理解する。



UNIQLO 2006



何がすごかったのか？



カタカナの使用。

シンプルな赤と白の配色。

ロゴの反復。

幾何学的な書体。

反復の肯定

合理的
大量生産

しがらみがない
クリーン
直線的



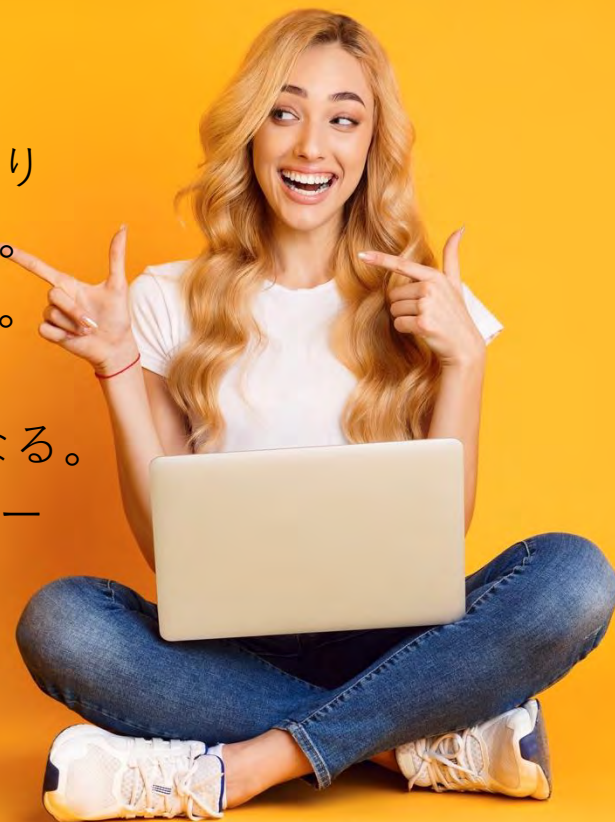
2000年代の社会変化

2000年あたりで社会が止まり、次を感じなくなる。

- 1990年代の劇的な技術進歩が止まる。
- 新自由主義の浸透とグローバルゼーションにより社会がフラット化し、個人が原子化していった。
- インターネットにより世界がコンパクトになる。

2004年という転換期: モノに価値が感じられなくなる。

- サービス科学、サービスデザイン、スタンフォードd.schoolなど。
- 厚みや重みの消失。



意味のシステムの解体

既存の意味のシステム:

- 答えは向こう側(次の時代)にあるという感覚。
- 向こう側を目指してカッコつける。
- 向こう側に厚く重い正解がある。
- さらには本物を暗示するファッションの原理自体。

新しい表現は、この意味のシステムを解体し、新しい世界観を指し示す。

- シンプル、フラット、しがらみのない自然体の表現。

ヘンな英語

ヘンな英語が書かれたTシャツを着た日本人。

カッコ悪い。

間違いを直さないと！



極度乾燥(しなさい)

Super Dry®

文化を深く正統に理解するエリートの時代から
文化を記号として軽く扱うエリートの時代へ。

Lost in Translation (2003)

アメリカ人がTokyoのネオンに魅せられる。

- 資本主義の極地、でもそれに乗り切れない。

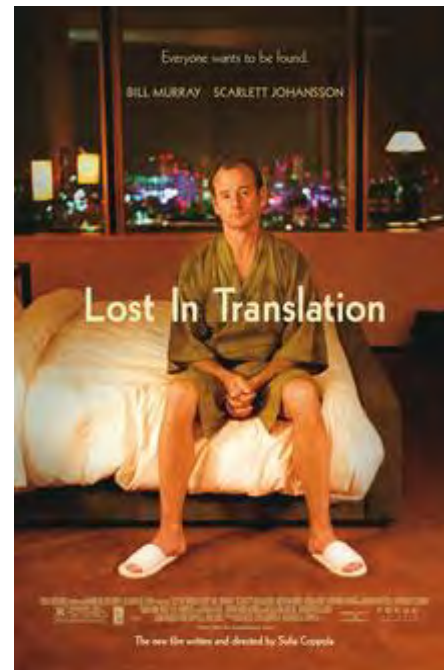
自分というものがない喪失感、深みのなさ。

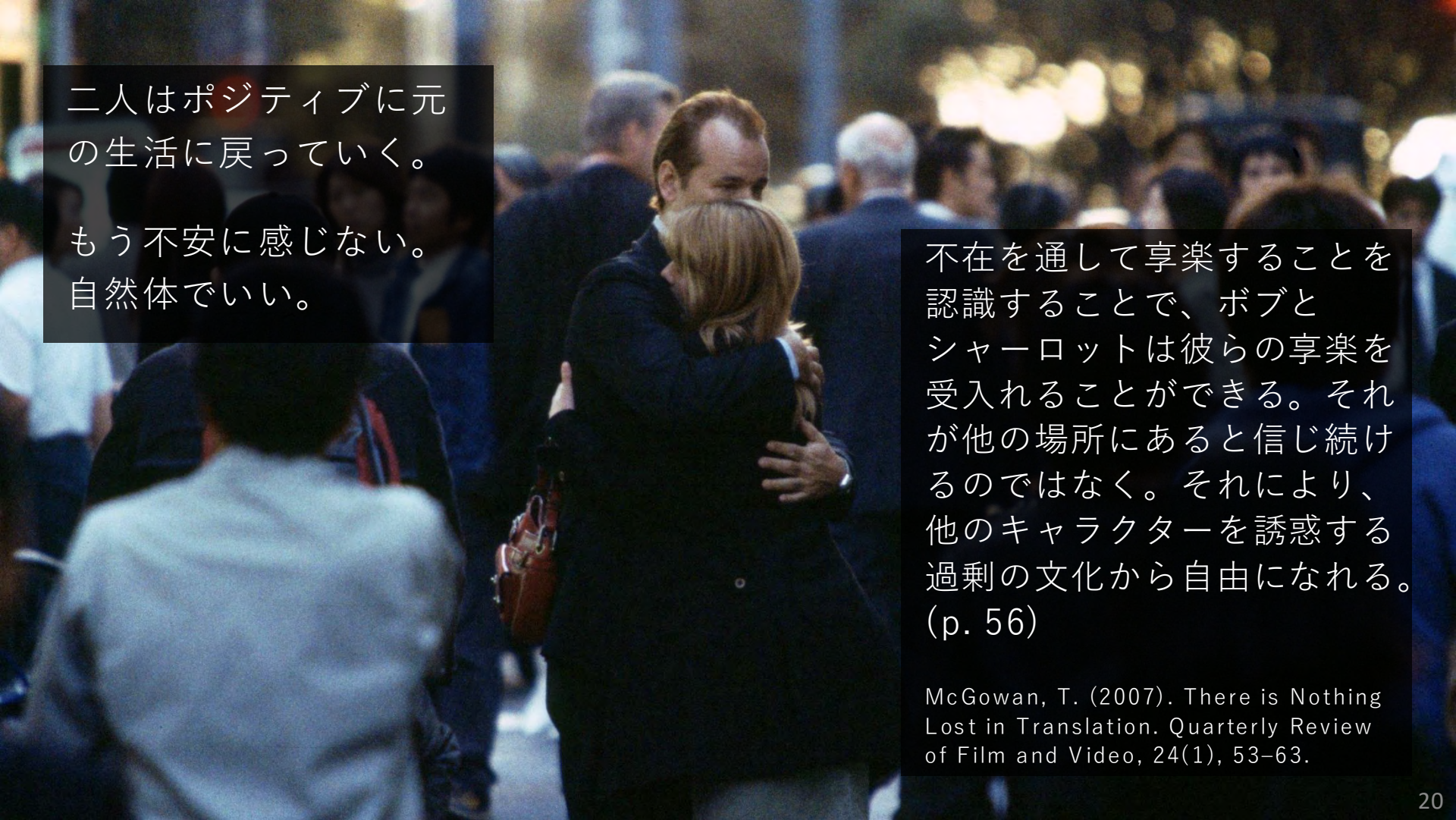
- 字幕がない。ぼかされた背景。切られるカット。

英語ができない日本人をバカにしていると批判される。

- しかし、異文化をフラットに扱えることがクールであるという新しい表現。
- 正統な文化を重く扱うことのカッコ悪さ。

c.f., *The Last Samurai* (2003)



A man and a woman are embracing in a crowd at night. The man is wearing a dark suit and the woman is wearing a dark jacket. They are surrounded by other people, some of whom are out of focus. The background is dark with some blurred lights.

二人はポジティブに元の生活に戻っていく。

もう不安に感じない。
自然体でいい。

不在を通して享樂することを認識することで、ボブとシャーロットは彼らの享樂を受入れることができる。それが他の場所にあると信じ続けるのではなく。それにより、他のキャラクターを誘惑する過剰の文化から自由になれる。(p. 56)

McGowan, T. (2007). There is Nothing Lost in Translation. Quarterly Review of Film and Video, 24(1), 53-63.

transvaluation

価値転換: ベーシックがカッコいい

ベーシックはダサい → カッコいい。

- しがらみのない白地に赤。
- 原子状個人の反復。
- 大量生産の軽さ。

「...なのによい」ではなく、「...だからよい」へ。

- 「ベーシックでダサいけど低価格で高品質」から
「ベーシックだからこそカッコいい」へ。



創造性とは社会をよく見ること

ほとんどの人は社会をよく見ることができていない。

- 間違えた英語のTシャツを来ている東京の日本人をクールだと捉えることができた人はどれだけいるだろうか？

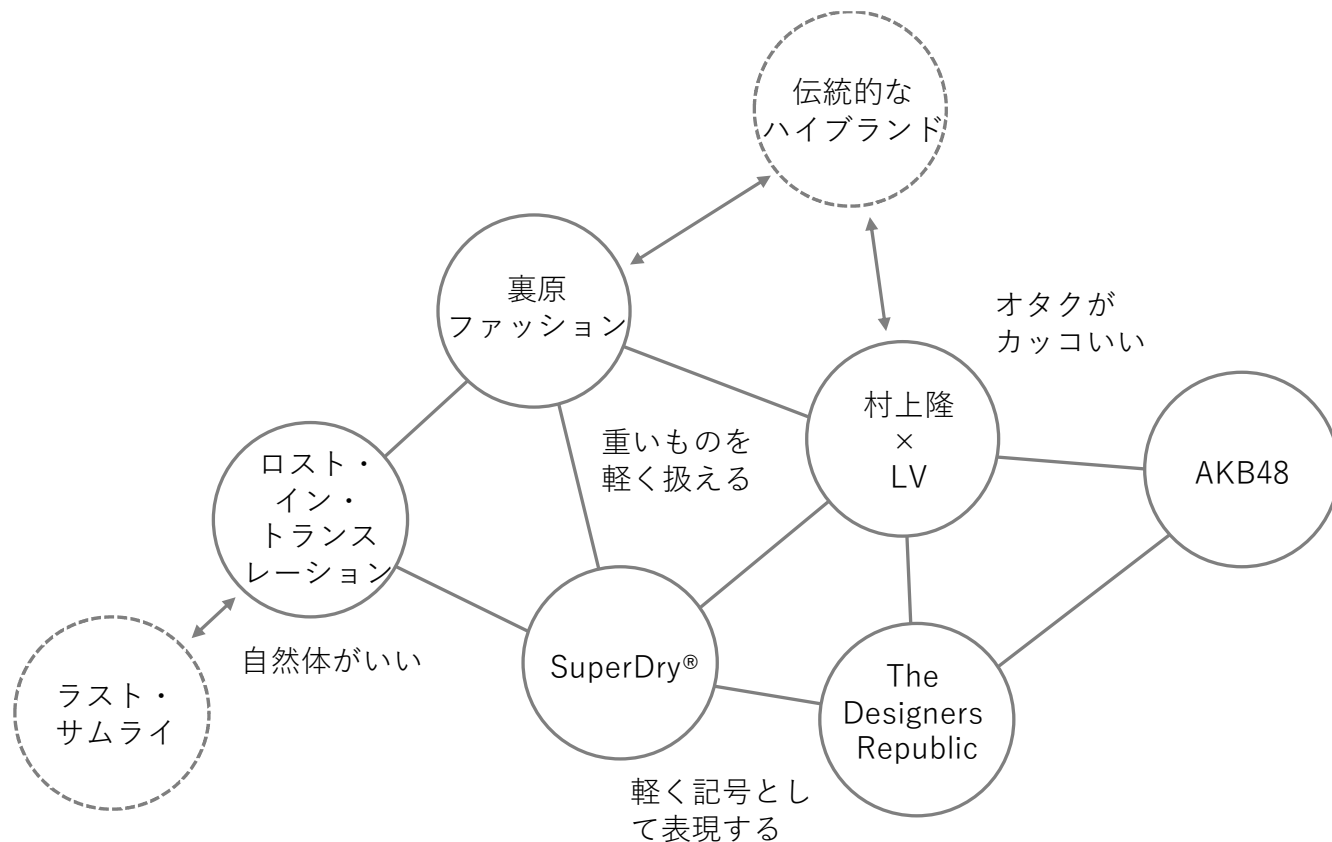
創造性とは、社会の変化を機敏に感じ取り、新しい世界観を表現すること。

- 個人の内面から湧き上がってくるものではない。
- からなずしも未来を予想するものでもない。

実は人文学がやっていること。



社会をよく見る方法: イデオロギーの星座



敗者を救済する

意味のシステムから排除されている「敗者」を感じ取る。

- 敗者を排除することでシステムが閉じられる。
- 敗者は意味のシステムの脆弱性の点である。

社会がどのような敗者に引き寄せられているのかを感じ取る。

- 取るに足りないように見える事象(星)を、星座の中に位置付けることで、輝かせる。

自分を、意味のシステムからはみ出る「敗者」に重ね合わせる。

- 自分(事業、ブランドなど)が救済される。
- 行き詰まりに直面する(敗者をかかえる)人々が救済される。
- 人々が新しい自己を感じることができる。

美学とは

意味の連関から宙吊りにされ、それ自体では目的も意味もない。

- 欲求からも、善からも自由である。
- ワケわからないこと。
- 無-意味であるから美しい。

この無-意味における自由こそが、新しい道徳であり、新しい政治の可能性を持つ。

- 無-意味の持つ破壊的力を考えよう。



aesthetics

美学＝感性論とは

既存の目的や意味の連関から宙吊りにされ、ワケわからない状態。

“ この感性的なものは、それが通常なしている諸連
hétérogène / heterogenous
関から引き抜かれ、ひとつの異質な力によって取り
étrangère / foreign
憑かれる。それは、自分自身にとって異他的なもの
となった思考の力である。(p. 24)

ランシエール, J.(2009)『感性的なもののパルタージュ』(梶田訳)法政大学出版局。

これが政治となりうる。



美的判断 = 無関心の適意

美は「無関心に」感じ取らなければならない。

“ 趣味とは、或る対象もしくはその対象を表象する仕方を、一切の関心にかかわりなく適意或は不適意によって判定する能力である。そしてかかる適意の対象が即ち美と名づけられるのである。(p. 84)

カント, I.(1964)『判断力批判 上』(篠田訳). 岩波書店.

美しいものは、目的も意味もないときに美しい。
－ 例えば、生理的な欲求や道徳的な善悪が関与しない。

小田部胤久 (2020)『美学』東京大学出版会.



Immanuel Kant

目的なき合目的性

目的に適っているが、目的がない。

“そして芸術は、我々がこれを人工であると知りながら、それにも拘らず我々に自然であるかのように見える場合にのみ美と称せられるのである。(p. 254)

天才は、その作品を産出する次第をみずから記述...
することができない、むしろ天才自身が自然として
規則を与えるのである。(p. 257)

カント, I. (1964) 『判断力批判 上』 (篠田訳). 岩波書店.
小田部胤久 (2020) 『美学』 東京大学出版会.



Immanuel Kant

美は道徳性の象徴である

“そこで私が言おうとするのはこういうことである、
—美は道徳的善の象徴である... (p. 258)

カント, I. (1964) 『判断力批判 上』 (篠田訳). 岩波書店.

道徳の基礎としての〈自由〉

- 美：構想力の自由が悟性(認識)の合法則性と一致、調和する。
- 道徳性：意志の自由は、理性の普遍的法則に従って自分と一致する。



Immanuel Kant

小田部胤久 (2020) 『美学』 東京大学出版会.

セブンイレブン 2011





2011年になぜこのデザインなのか？

どのような意味のシステムを解体したのか？

既存の意味のシステム: プライベートブランド

安かろう悪かろう。

- ナショナルブランドの「ジェネリック(後発)版」のイメージ。

ナショナルブランドの神話。

- 昔からある有名なブランドであれば問題がない、安心、いいものである、という神話。
- ナショナルブランドでなければ、あやしいもの。



価値転換

2008年の金融危機以降の資本主義批判の雰囲気拡大。

- 売ろうとして作られたものに対する懷疑。

アクティブな消費者

- 消費者が製品の内部や成分を議論し始める。

消費者はシンプルなデザインを求めている。

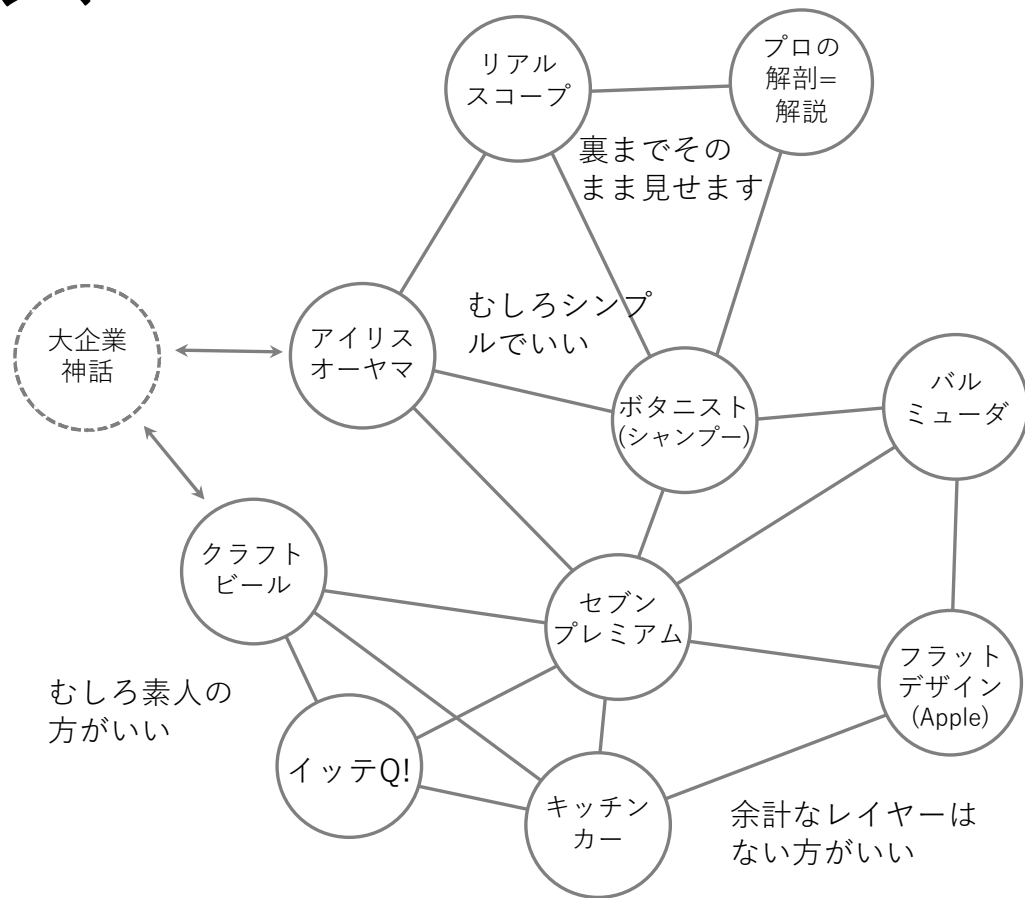
- 立体的なものからフラットに。

ナショナルブランドではなく、むしろシンプルなもの
がいい。

ナショナルブランドのジレンマ

店舗の棚に並べてもらうために、目立つデザインを選択せざるを得ない。

逆に、派手なデザインでなくても棚を確保できることは、プライベートブランドの利点でもある。



面でデザインする

ブン・イレブンの「食卓サラダ」 洗わずに、そのまますぐに食卓へ。

潔く綴じたシンプルな世界観。
プライベートブランドの爽快感。
実はプライベートブランドの方がいい。
NBの神話が崩壊した新しい世界を感じる。

社会の変化を読み取り、意味を切断し表現する

まず多くの人々には見えていない社会の変化を読み取れるのか？

- もし社内で星座を作り議論している状態を作ることができれば、その企業は自然にイノベーションを起こせるようになるだろう。

価値転換を通して、意味を切断する表現ができるか？

- 「意味」の説明されず、善し悪しを判断する基準が宙吊りにされたシンプルな表現を選び取ることができるか？

組織は常にその力を育てなければならない。



表現とは「切断」である

表現は、意味の連関を切断し、現実を越えた超越(論)的なものを捉える。

- 意味(内容)をいくら詰め込んでも表現にはならない。
- 問題解決でしかない。

“ この感性的なものは、それが通常なしている諸連関から引き抜かれ、ひとつの異質な力によって取り憑かれる。…美的状態とは純粋な中断であり、形式がそれ自体として感じられる契機である。(pp. 24-26)

ランシエール, J.(2009)『感性的なもののパルターージュ』(梶田訳)法政大学出版局.



イノベーション=アート

ビジネスがアートを「すごい」と神秘化するが...

- 自分とは関係のないものとして向こう側に置いて、それからインスピレーションを得ようとする。

そうではなく、ビジネス自身が自分のアートをしなければならない。

- つまり、イノベーション=アートをする。
- さらに、ビジネスとは社会批判である(べき)。

